

ロシア留学体験レポート

新潟国際情報大学
国際学部
21017015 伊藤彩乃

初めに

私は今回の留学生活を通してとても多くのことを学んだ。もちろん楽しいことだけでなく、辛いこともあった。本稿では特に印象に残っていることについて述べていく。

1. クラシックバレエ鑑賞

私は留学中に2回クラシックバレエを見に行った。ロシアでバレエを見ることは私の夢であった。日本でバレエを見に行くとは結構な値段がするが、ロシアでは想像していたよりも安価で見ることができた。1度目は「海賊」、2度目は「くるみ割り人形」を鑑賞した。「海賊」は先生がチケットを取ってくださり、日本人と韓国人の希望者で一緒に見に行ったのだが、主役を演じていたのが日本人の方だった。それがきっかけとなり、その方とはとても親しくさせていただき本当に幸せな時間だった。

2. 現地学生や韓国人学生との交流

留学先の寮は二人部屋だった。私は韓国人学生と同室だった。家族以外の誰かと一緒に暮らすこと自体が初めての経験だったため、最初はとても緊張し、様々な不安もあった。しかし、彼女はすごく親切で、一緒に暮らしていくうちにとても仲良くなることができた。留学先に彼女の家族が遊びに来たときに、家族に紹介してくれたことが嬉しかった。

また、同じ寮には韓国人がたくさん住んでいた。授業のクラスが同じ子もいた。中には日本語が話せる子もいてとても心強かった。韓国人学生はロシア語の能力がとても高く、彼らと同じ授業のペースについていくことは正直とても大変だった。しかし、そのことが私のロシア語の学習意欲を向上させてくれたと感じている。特に何度か一緒にパーティーをしたり、遊園地に行った子たちとはまた必ず会いたい。

私たち日本人学生のお世話をしてくれていた現地学生と仲良くなれたこともいい思い出だ。みんなとても親切で日本語がとても上手かった。最初は全然ロシア語が分からずに、彼女たちに頼ってしまっていたが、帰国する一週間ほど前に会ったときにロシア語が上手くなったとほめてくれた時はとても嬉しかった。そして、もっとロシア語の勉強を頑張ろうと感じた。

ここで紹介した韓国人学生や現地学生とは今でも時々SNSでメッセージをやり取りすることがある。留学に行き、彼らと出会うことができ本当に良かったと感じている。

終わりに

以上のように私は留学を通して様々な経験をした。日本人以外の学生と一緒に受けることは刺激になり、バレエ鑑賞という夢もかなえることができた。もしも留学に行くかどうか悩んでいる人がいるのなら、私は絶対に行くことを勧める。